

1 事業概要

事務事業名		環境技術開発センター運営事業		課名	工業課	事業No.	228
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
				飯田市版総合戦略			
法令・例規等							
事業目的		対象	起業、研究開発に取り組む者				
		意図	起業や研究開発を支えるための事業化に向けたサポート及び施設の管理運営				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	インキュベーターマネージャーを配置し、センターの管理及び運営を行うとともに、産業センターのコーディネーターも加わり、入居企業の研究開発から事業化、企業が抱えている課題に対する相談まで総合的な支援を行いました。空き室に対して地域内外からの施設利用を促進するために、情報発信や誘致活動を実施しました。信州大学航空機システム共同研究講座修了生と合同で研究成果発表会を実施し、高等教育機関との連携を図りました。		環境技術開発センター運営事業費				4,682	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	新規創業者数	社	1	0	0			
	入居企業数	社	4	4	4			
	開発件数	件	5	3	4			
30年度 決算 (千円)	予算額	4,687	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	4,682	(そ) 環境技術開発センター入居企業共益負担金 1,320千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 桐林環境産業公園駐車場使用料 1,580千円				
		県支出金	0	(そ) 一本平産業団地駐車場使用料 85千円				
		地方債	0					
		その他	2,985					
一般財源	1,697							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	13	2	4,687	4,682	環境技術開発センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振返り課題認識	・ インキュベーションマネージャーによる入居企業に対する研究開発・新規創業等について、継続的かつ総合的なサポートが必要です。また、2つの空室と入居期限が迫っている企業があり新たな入居企業の確保が必要です。
上記の課題解決のための有効策	・ エスパードにおける新たなインキュベーター室と連携を図り、様々な企業のニーズに対応した厚みのある支援を図ります。
次年度に向けての取り組み	・ エスパードにおける新たなインキュベーター室や企業人材確保住宅の募集にあわせて、入居者の募集を図ります。また、マスコミ等を活用して、地域内外へ積極的にPRします。